

【二月の言葉（令和三年）】

## 鬼は世間ではなくて

### 私の中にいるのです

『腹が立ったら鏡を出して顔を見る 鬼の姿が無料ただで見られる』

お寺の伝道掲示板で見かけた言葉です。普段は菩薩のように穏やかな顔をしている人でも、怒りに狂えば鬼の形相になるものです。理性や知性ではコントロールできないのが私たちの感情です。私たちの内側には、鬼が住み着いていて、気分や機嫌によっては息をひそめています。が、いざ欲が満たされなかったり、思い通りにならなかったりすると、この鬼は途端に暴れ出します。

「他人に迷惑をかけないように」「相手を傷つけないように」、世間は道徳的な言葉に満ちています。そのとおりに生きていくことが人間としての理想かもしれません。しかし、日々の生活は周囲に迷惑をかけてばかりですし、こちらの善意が逆に相手への余計な押し付けになったりもします。

自己を自在にコントロールできると考えるのは思い上がりであって、自分自身の本性(正体)と向き合っていないだけです。

「私の中に鬼などいない」

あなたは本当にそう言いきれますか？